

しろくまの語句直前追い上げ講座 第一回 問題編

直前は暗記だっというのには、あまりにもあたりまえに言われること…。でも、あまりに膨大にやっても労多くして益少なし、というのも正直、暗記分野…。ツボをしっかりとっておさえ、やはり記述や記号選択の演習量を増やしておくほうが得点をあげられます。そのツボおさえ、のお手伝いをお願いします。

漢字の書き取りの確認は

- ① 熟語型の書き取りは小6配当漢字で
- ② 訓読み型の書き取りは小5配当漢字で

という原則でおさらいしていくのが能率的です。的をしぼって確実に！

「易行」「選択」「専修」です。難読漢字なんてもうしない！ ふだん使う、ありきたりのでも、ド忘れしやい、みんなが書ける漢字を落とすから「差」がつけられるのです。

まずは、小5配当漢字で、「訓読み型」の書き取りをやっていきましょう。

- 一 世の中のウツ（ ）り変わりが激しい。
- 二 末ナガ（ ）いおつきあいをおねがいます。
- 三 ヤサ（ ）しい問題から解いていこう。
- 四 この家はあくまでも来年までのカリ（ ）住まいです。
- 五 虎（とら）を飼いナ（ ）らすのは、素人には無理だ。
- 六 親にサカ（ ）うのはよくないことだ。
- 七 ヒサ（ ）しぶりに雨がふった。
- 八 怒られているのにイ（ ）直った。
- 九 見サカイ（ ）なくなぐりかかった。
- 一〇 魚が川いっぱいにム（ ）れていた。
- 一一 百年はへ（ ）っている古木。
- 一二 ケワ（ ）しい山道を登る。
- 一三 つぼの中のはちみつがへ（ ）っている。
- 一四 宣伝がキ（ ）いてきた。★
- 一五 心ガマ（ ）えが大切だ。★
- 一六 新しい国がオコ（ ）る。
- 一七 水に毒がマジ（ ）る。
- 一八 光をト（ ）り入れる。★
- 一九 窓ギワ（ ）の席にすわる。★
- 二〇 医師になることをココロザ（ ）す。
- 二一 たおれないように、木のぼうでササ（ ）える。
- 二二 わたしは心をこめてアヤマ（ ）りました。
- 二三 名誉（めいよ）ある賞をサズ（ ）かった。
- 二四 猫（ねこ）が手マネ（ ）きしているみたいだ。
- 二五 近代的な都市をツク（ ）る。
- 二六 日マ（ ）に不安がつのってきた。

- 二七． 羊にヒキ（ ）いられた獅子百頭よりも、獅子にヒキいられた羊百頭のほうがまさる。
- 二八． この部屋はカ（ ）し切りです。
- 二九． 筆をタ（ ）った作家。
- 三〇． 一線からシリゾ（ ）く。
- 三一． 新しい家をキズ（ ）く。
- 三二． ぼくが正しいと言ひハ（ ）る。
- 三三． かばんを手にサ（ ）げる。★
- 三四． カタキ（ ）役を演じる。★
- 三五． 背クラ（ ）べをする。
- 三六． かれはなかなか舌がコ（ ）えている。
- 三七． 台風にソナ（ ）える。
- 三八． 心のマズ（ ）しい人だ。
- 三九． ヌノ（ ）でよごれをふく。
- 四〇． わたしはア（ ）み物が得意です。
- 四一． 一定の距離（きより）をタモ（ ）つ。
- 四二． 努力にムク（ ）いる。
- 四三． 経験がユタ（ ）かな人。
- 四四． 強い風をフセ（ ）ぐくふうをする。
- 四五． せまい部屋でアバ（ ）れるな。
- 四六． 審判をツト（ ）める。
- 四七． 何を血マヨ（ ）っているんだ。
- 四八． 血マナコ（ ）になってさがす。★
- 四九． アマ（ ）り物を戸棚にかたづける。
- 五〇． ト（ ）め金がはずれる。
- 五一． 大自然のイトナ（ ）みを感じる作品。

★印は、とくに子どもがよくド忘れした漢字です。

どうでしょう、小5配当漢字のうち、訓読み型のもはこれだけおぼえればOK！ あれこれやる前に、先にこれだけは全部おぼえておきましょう。

(ア) 同音異字を間違える

(イ) 同音異形を間違える

(ウ) めずらしい読み方を間違える

というのが小学生： 同じ読み方で意味が違うものを確認し、よく似た漢字、とくに部首間違いを確認し、よくつかうけれど珍しい読み方を確認する、の三段階でこれらを整理してみましよう。

他にもやりたいことはヤマのようにあるかと思いますが、目の前のものを一つ一つ解決しておくのも大切なこと。直前は、「あれもこれも」と考えず、「あれかこれか」で参りましょう。もしよければ、とりあえず、この小5配当漢字の「訓読み型」からおぼえてみてはどうですか？

(次回は小6配当漢字の熟語型をまとめます。)

しろくまの語句直前追い上げ講座 第一回 解答解説編

問題作成：しろくまさん ファイル作成：sotonohito 外の人 <http://shirokumafan.wordpress.com/>

- 一 世の中のウツ（移）り変わりが激しい。
- 二 末ナガ（永）いおつきあいをおねがいます。
- 三 ヤサ（易）しい問題から解いていこう。
- 四 この家はあくまでも来年までのカリ（仮）住まいです。
- 五 虎（とら）を飼いな（慣）らすのは、素人には無理だ。
- 六 親にサカ（逆）らうのはよくないことだ。
- 七 ヒサ（久）しぶりに雨がふった。
- 八 怒られているのにイ（居）直った。
- 九 見サカイ（境）なくなぐりかかった。
- 一〇 魚が川いっぱい（群）れていた。
- 一一 百年は（経）ている古木。
- 一二 ケワ（険）しい山道を登る。
- 一三 つぼの中のはちみつが（減）っている。
- 一四 宣伝がキ（効）いてきた。★
- 一五 心ガマ（構）えが大切だ。★
- 一六 新しい国がオコ（興）る。
- 一七 水に毒がマジ（混）る。
- 一八 光をト（採）り入れる。★
- 一九 窓ギワ（際）の席にすわる。★
- 二〇 医師になることをココロザ（志）す。
- 二一 たおれないように、木のぼうでササ（支）える。
- 二二 わたしは心をこめてアヤマ（誤）りました。
- 二三 名誉（めいよ）ある賞をサズ（授）かった。
- 二四 猫（ねこ）が手マネ（招）きしているみたいだ。
- 二五 近代的な都市をツク（造）る。

- 二六． 日マ（増）に不安がつのってきた。
- 二七． 羊にヒキ（率）いられた獅子百頭よりも、獅子にヒキいられた羊百頭のほうがまさる。
- 二八． この部屋はカ（貸）し切りです。
- 二九． 筆をタ（絶）った作家。
- 三〇． 一線からシリゾ（退）く。
- 三一． 新しい家をキズ（築）く。
- 三二． ぼくが正しいと言ひハ（張）る。
- 三三． かばんを手にサ（提）げる。★
- 三四． カタキ（敵）役を演じる。★
- 三五． 背クラ（比）べをする。
- 三六． かれはなかなか舌がコ（肥）えてる。
- 三七． 台風にソナ（備）える。
- 三八． 心のマズ（貧）しい人だ。
- 三九． ヌノ（布）でよこれをふく。
- 四〇． わたしはア（編）み物が得意です。
- 四一． 一定の距離（きより）をタモ（保）つ。
- 四二． 努力にムク（報）いる。
- 四三． 経験がユタ（豊）かな人。
- 四四． 強い風をフセ（防）ぐくふうをする。
- 四五． せまい部屋でアバ（暴）れるな。
- 四六． 審判をツト（務）める。
- 四七． 何を血マヨ（迷）っているんだ。
- 四八． 血マナコ（眼）になってさがす。★
- 四九． アマ（余）り物を戸棚にかたづけける。
- 五〇． ト（留）め金はずれる。
- 五一． 大自然のイトナ（営）みを感じる作品。

(解説)

「同音異字」がよく入試で出題されます。

一．「写す・移す・映す」 「写真を写す」 「映画を映す」が注意すべきところですよね。

三．「易しい」「優しい」

四．「仮住まい」を「借住まい」にしちゃわないように。

十四．「効く」「利く」の使い分けがポイントになります。「効く」は作用・影響が現れること。「利く」は機能・能力が発揮されること。

十五．「興る」「起こる」の区別はできますか？ 「事件がおこる」「反対運動がおこる」を書き分けられるとよいのですが… 「興る」は勢いが盛んになる場合に用いますから、「事件が起こる」「反対運動が興る」が適切です。ただ、単にそういうものが発生した、という意なら「反対運動が起こる」も可となり、前後の文脈からの判断が必要です。

十八．「取る」「採る」は入試でよく出ます。「取る」はたいてい何でも使えるものですが、「採る」のほうは「必要なものを」「とって入れる」という意味が強いものです。ですから「入れる」という意味がある場合はこちらがつかわれますよね。「昆虫採集」「採決」「採取」「採用」そして「採光」。

四十六．「務める」「勤める」「努める」は「務める」と「努める」の判別がよく出ます。これは以前に説明したことがあります。「を」つとめる・「に」つとめる、で判別しましょう。解決「に」努める、議長「を」務める… 使い分けができるでしょうか？